

目次

令和6年度の主な事業

1 医療・健康福祉

- ・医療特別対策事業 p. 2
- 医療機能分化・連携再構築整備支援事業
- ・出産・育児支援事業 p. 3
- 家庭児童相談事業，子育て支援事業
- ・母子保健事業 p. 4
- ・健康増進事業 p. 5
- ・生活困窮者自立支援事業 p. 6
- ・地域支援事業 p. 7

2 生活環境

- ・災害等対策事業，防災訓練事業 p. 8
- ・廃棄物減量処理対策事業 p. 9

3 産業

- ・企業・港湾振興事業 p.10
- ・農業振興事業 p.11
- ・園芸振興事業 p.12
- ・水産業振興事業 p.13
- ・スポーツツーリズム推進事業 p.14
- ・観光振興事業 p.15

4 都市基盤

- ・住環境整備事業 p.16
- ・市営住宅建替事業 p.17
- ・空家等対策事業 p.18
- ・地籍調査事業 p.19
- ・市道整備事業，市道補修整備事業 p.20
- ・北公共埠頭雨水幹線整備事業 p.21
- ・雨水排水対策事業 p.22

5 教育・文化

- ・学力向上推進事業 p.23
- ・小・中学校給食費の無償化 p.24
- ・第一学校給食共同調理場整備事業 p.25
- ・矢田部公民館管理運営事業 p.26
- ・スポーツ推進事業 p.27
- かみす防災アリーナ運営事業

6 地域づくり

- ・はさき保健・交流センター管理運営事業 p.28
- はさき保健福祉センター運営事業
- ・コミュニティセンター管理運営事業 p.29
- ・地区活動支援事業，市民協働推進事業 p.30
- ・地域ポイントカード事業 p.31
- ・まちなのにぎわいづくり事業 p.32
- (息栖神社周辺整備)
- (神之池緑地整備)
- (波崎東部地域)
- ・かみす子育て住まい給付金 p.33

7 自治体運営

- ・広報戦略事業 p.34
- ・電子自治体推進事業 p.35



重 医療特別対策事業 医療機能分化・連携再構築整備支援事業

医療特別対策事業

事業目的

- ・ 地域医療体制検討委員会からの提言を踏まえ、市民・企業に寄り添う医療体制の確立を目指します。
- ・ 市内全域における医療提供体制の底上げに向けて、関係機関との連携により、急性期医療・救急医療等の様々な課題に対して具体的な方策を講じます。
- ・ 市内研修医療機関等と協力しながら、若手医師等の教育研修環境整備に取り組むとともに、当市の特色を生かした取り組みによる医師確保を推進します。

令和6年度の主な取組

- ・ **医師確保事業補助金** 129,923千円
市内医療機関の常勤医の雇用に係る経費を支援
- ・ **地域赴任医師支援金** 86,000千円
市内医療機関に就業した医師を支援
- ・ **若手医師受入支援事業補助金** 63,172千円
若手医師の受入体制整備に係る経費を支援
- ・ **寄附講座開設費寄附金** 204,248千円
新 東京女子医科大学（総合診療科）R6～R8



医療機能分化・連携再構築整備支援事業

事業目的

- ・ 地域医療構想等の議論を踏まえて実施される医療機関の機能分化・連携再構築に係る施設整備や体制強化を支援します。



令和6年度の主な取組

- ・ **後方支援体制整備事業(白十字総合病院)** 232,952千円
白十字総合病院は、病棟建替えにより令和6年度に304床が受け入れ可能予定。市は回復期・慢性期病棟建替整備に係る経費を支援。
- ・ **循環器疾患受入体制強化整備事業(鹿嶋ハートクリニック)** 80,000千円
鹿嶋ハートクリニックは、令和6年度に23床を有する病院になる予定。当市における心疾患や脳疾患の医療体制が格段に改善されることが期待されるため、市は施設・体制整備に係る経費を一定期間継続して支援。

(出産・育児支援事業)	22,544千円
(家庭児童相談事業)	34,887千円
(子育て支援事業)	35,481千円



重 出産・育児支援事業 家庭児童相談事業 子育て支援事業

新 こども家庭センターの設置 (こども家庭課内)

概要

令和6年4月から、市内全ての子どもや妊産婦、子育て家庭を対象に、一体的支援を行うこども家庭センターが稼働します。

母子保健(一部)

子育て世代包括
支援センター

妊産婦や乳幼児の
保護者を支援

児童福祉

子ども家庭総合
支援拠点

虐待・貧困など
問題を抱えた児童や妊婦
を支援

一体化

令和6年4月

こども家庭センター

すべての妊産婦と子ども・保護者を支援



家庭児童相談事業

家庭における適正な児童養育の推進を図るため、家庭相談員を配置し、相談業務の充実を図り、児童虐待の予防・対応を強化します。

出産・育児支援事業

核家族化、小家族化が進んでいることから、子育て家庭が孤立しないよう、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援と子育て世帯の経済的な負担の軽減を図ります。

子育て応援ギフトカタログ

妊娠32週以降に保健指導を受けた妊婦または出生届を提出した保護者に、**子育てに役立つ品物(1万5千円相当)**を選べるギフトカタログを贈呈します。
※「子育てタウン」アプリから注文ができます。



子育て支援事業

子育て世帯の経済的な負担の軽減を図るため、子育て応援券を贈呈します。

子育て応援券

小学校入学を控えたお子さんをお持ちの保護者に、市内協賛店で入学に役立つ品物等を購入できる**ギフト券(3万円分)**を贈呈します。



重 母子保健事業

目的 妊娠期から乳児期にかかる費用の助成や産後ケア事業の拡充を図り、母子の健康の保持増進に努めます。

主な事業

妊娠期から乳児期にかかる費用の助成

- ・妊産婦健康診査（妊娠期14回，出産後2回）
- ・新生児聴覚検査
- ・1か月児一般健康診査
- ・乳児健康診査（4～7ヶ月児・9～11ヶ月児の2回）
- ・未熟児に該当する場合は養育医療費の給付 など

新 多胎の妊婦に対しては、妊婦健康診査にかかる費用を
1回5,000円で最大5回まで追加で助成します。



(拡) 産後ケア事業



概要 心身のケアや育児のサポート等を行う産後ケアを必要とする人が、誰でも受けられるようにするために、利用料金の引き下げを行います。また、新たに居宅訪問型のサービスを開始し、県内の里帰り先でも居宅訪問型のサービスが利用できるようになります。

- ・対象者 産後ケアを必要とする市内在住の
出産後1年未満のお母さんと乳児
- ・利用日数 1回の出産につき7日まで
- ・利用料金

	令和5年度		令和6年度
短期入所型	5,000円	➡	2,500円
通所型	2,000円	➡	1,000円
新 居宅訪問型			500円

重 健康増進事業

目的 各種がん検診や住民健診等の受診を促進し、生活習慣病等の早期発見を図ります。
また、健康教育等により、市民の健康に対する意識の向上や行動変容を促し、健康の保持・増進を図ります。

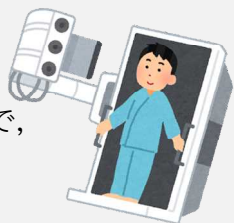
主な事業

がん検診 ▶ 無料

神栖市独自！

住民健診 ▶ 無料

肺・胃・大腸・乳・子宮・前立腺がん検診と、肝炎ウイルス検査、胃がんリスク検診（ピロリ菌）の自己負担金を無料とすることで、受診を促進します。



生活習慣病予防健診（16歳～39歳）の基本項目分の自己負担金を無料とすることで、受診を促進します。
※国保被保険者（40歳～74歳）及び後期高齢者医療被保険者も無料化

かみす健康マイレージ

神栖市独自！

神栖市地域食育サポーター

市民の主体的な健康づくりを応援するため、5つの健康目標のうち、3つ以上達成した方に、抽選で景品をプレゼントします。

【令和5年度景品例】

EMS運動機器、自動調理鍋、自動血圧計、協賛企業からの各種協賛品 など



市が実施する養成講習会を修了した地域食育サポーターが、地域において講話や調理実習を行い、減塩・適塩を推進します。
令和6年度は、新たに食育サポーターを増員します。



減塩・適塩に関する調理実習

目指そう！
健康長寿！



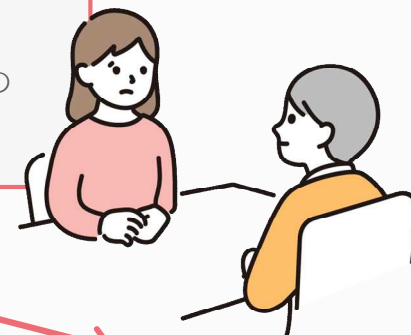
重 生活困窮者自立支援事業

目的 生活保護に至る前の段階で、生活に困窮する方（又はその恐れのある方）が自立できるよう支援します。

生活困窮相談の
総合窓口機能

生活困窮者自立相談支援事業

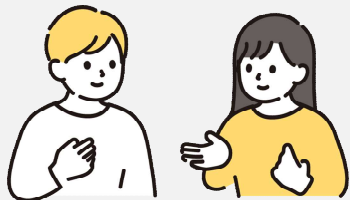
生活相談を総合的に受け付け、相談者の困窮（又は困窮となる見込み）の状況や内容に応じて利用可能な制度等につなげます。



相談内容に応じた各種支援事業

生活困窮者就労準備支援事業

通常の就労活動が困難である方（例：ひきこもり等）に対し、社会との接点や他者とのコミュニケーションを持てるよう支援し、就労活動につなげます。



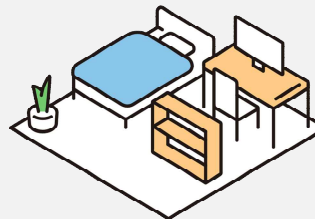
家計改善支援事業

世帯の収入に応じた適切な家計管理が困難である方に対し、家計再生の計画やプラン作成を通じて、持続的な家計改善を支援します。



住居確保給付金

離職等により困窮し住居を喪失した（又はその恐れがある）方に家賃相当の給付金を支給し、生活基盤となる住居を確保することで、次の就労を支援します。



一時生活支援事業

住居を喪失した方に対し、一時的居所（県営住宅）や食材・衣類等を提供するほか、状況に応じて見守り訪問を行うことで、生活の立て直しを支援します。



重 地域支援事業

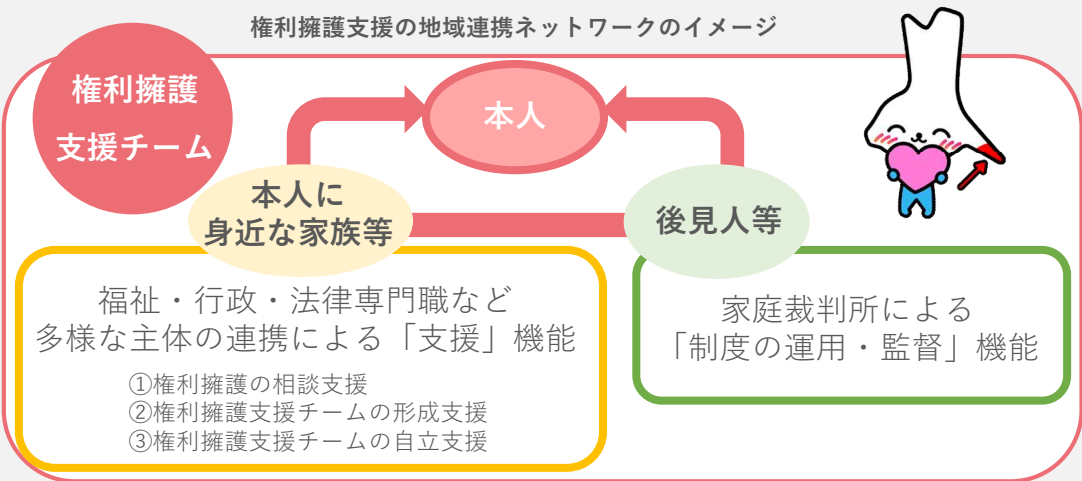
権利擁護事業

高齢者虐待対応に係る体制整備や連携強化を図り、虐待の未然防止、早期発見、迅速かつ適切な対応を行い、高齢者本人の尊厳保持と自立支援を実現するために支援の質を高めます。

主な取り組み

- 地域の関係機関、介護保険事業者、医療機関等の保健福祉関係者とのネットワークを構築し、認知症等の高齢者で支援を要する方を早期に発見、相談につなげられるよう体制を整備します。
- ・ 高齢者虐待防止 ・ 成年後見制度利用支援 ・ 消費者相談支援

権利擁護支援の地域連携ネットワークのイメージ



認知症総合支援事業

認知症になっても暮らし続けることのできる地域の環境づくりとして、認知症の容態に応じた適切な医療と介護の提供、認知症の正しい理解の普及、認知症高齢者の見守り事業を実施し、認知症の方やその家族を支える支援体制を強化します。

主な取り組み

- 認知症の方ができる限り住み慣れた地域で生活を継続するために、医療・介護・生活支援サービス等地域の支援機関をつなぐコーディネーターを配置し、効果的な支援を行います。
 - ・ 認知症初期集中支援チームの配置
 - ・ 認知症地域支援推進員の配置
 - ・ 認知症高齢者等徘徊SOSネットワークの構築
- 徘徊等による認知症高齢者の行方不明時に、二次元バーコードを用いて早期発見につなげるシステムの活用や、徘徊探知機の貸し出しを行います。
- 認知症VR体験等の啓発事業を通じて、認知症に対する市民の理解促進を図ります。

重 災害等対策事業 防災訓練事業

津波避難施設整備

R6予算額：404,318千円

目的

舎利浜地区における、津波から逃げ遅れてしまう可能性のある避難困難者の解消を図るため、津波避難施設（高台）の整備工事を行います。

実施内容

- ・整備地の液状化対策
- ・避難施設の整備

施設概要

高台

- ・収容人数 300人
- ・施設の高さ 5m
- ・避難スペース 400㎡

高台には階段、スロープを設置し、敷地内にトイレを設置する予定です。

平常時は、防災啓発施設として利用します。



イメージ図

食糧・保存水・資機材の購入

R6予算額：23,410千円

目的

東日本大震災時の経験を踏まえ、現在の人口の約10%に当たる10,000人が1週間生活できる食糧・保存水を備蓄するほか、避難所運営に使用する資機材を整備します。

実施内容



- 令和6年度に期限を迎える食糧（アルファ米、粉ミルクなど）及び保存水を更新します。
- オストメイトの方の避難を想定し、福祉避難所に専用の仮設トイレを配備します。

防災訓練の実施

R6予算額：2,392千円

目的

住民参加型の避難訓練を年に2回実施し、洪水や津波からの避難に関し、避難先や避難経路の確認を行うとともに、体験型の総合防災訓練により更なる防災意識の高揚を図ります。



避難所開設・避難者受入訓練



高所救助訓練



応急給水訓練

重 廃棄物減量処理対策事業

概要

安定的なごみ処理を行うことで、地域の公衆衛生の向上と維持を図るとともに、環境負荷軽減のため、分別指導・情報提供などの啓発活動を行います。また、市民が行う資源物回収等を支援し、より一層のごみの減量化・再資源化を推進します。

主な事業内容

R6予算額 417,562千円

新可燃ごみ処理施設整備事業

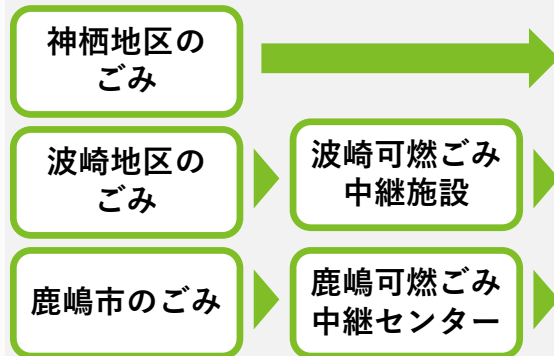
目的

令和6年4月に本稼働する、神栖市・鹿嶋市の可燃ごみを処理する鹿島共同可燃ごみクリーンセンターを安定的に運転することで、地域の循環型社会形成の中核施設としてエネルギー回収等を行います。

また、両市の可燃ごみを効率的に収集・運搬するため、可燃ごみ中継施設を整備します。

鹿島共同可燃ごみクリーンセンター

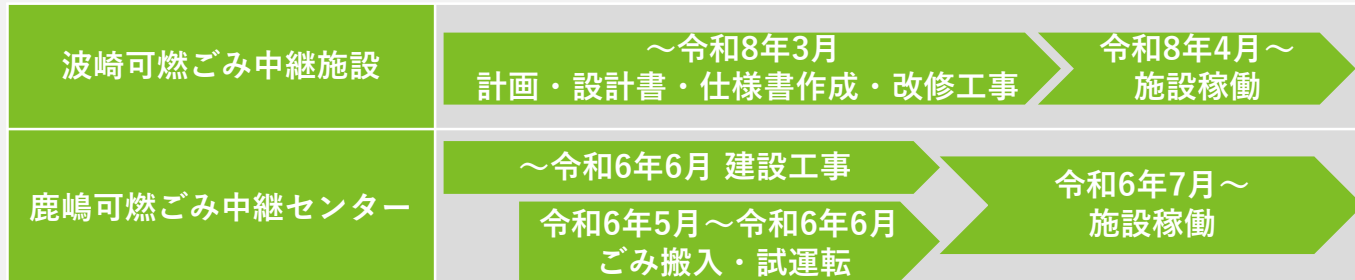
収集体制



受け入れるごみの種類

- 木くず・草
- ゴム・皮革類
- 台所ごみ（生ごみ）
- 資源とならない紙
- 資源とならない繊維類
- 汚れの取れないプラスチック類
- その他（貝殻、乾燥剤、スポンジ類、ビニールホース、CD等）

整備スケジュール





企業・港湾振興事業

目的 産業拠点としての鹿島臨海工業地帯の競争力強化を図るとともに、企業誘致を推進し、安定した雇用を確保します。鹿島臨海工業地帯の産業活動を支える鹿島港の整備促進と機能拡充を図ります。

- 概要**
- 1.立地環境整備など鹿島臨海工業地帯の競争力強化の取り組みを推進（事業所の新增設に係る課税免除等）
 - 2.コンテナ貨物の荷主等への助成



コンテナ貨物の荷主等への助成内容

●荷主向け

	基本額(輸出) 円/本	基本額(輸入) 円/本	最大単価 円/本	加算メニュー
新規利用	10,000	15,000	32,000	<ul style="list-style-type: none"> ・国際フィーダー※1利用 ・モーダルシフト※2 ・最寄港利用・県産農産物輸出
継続利用	5,000	8,000	16,000	<ul style="list-style-type: none"> ・国際フィーダー利用 ・最寄港利用・県産農産物輸出
大口荷主	年間利用本数に応じ20万円～100万円/ルート			

●船社向け 新規航路開設 3,000円/本

●フォワーダー※3向け新規利用企業開拓支援 新規利用の該当助成額の2割

☆対象者ごとに助成上限額あり

※1 国際コンテナ戦略港湾（阪神港・京浜港）と国内各港を結ぶ支線の役割を担う航路
 ※2 トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること
 ※3 荷主と運送事業者との間に立って、貨物の運送取扱、利用運送及びこれらに付帯する業務を行うことを業とする者

総事業費 24,700千円

事業主体 鹿島港振興協会

総事業費に対する負担割合

県:35%(8,645千円),
 荷役企業等:30%(7,410千円),
 市:35%(8,645千円)
うち神栖市の負担額は7,781千円



重 農業振興事業

目的

農業従事者が減少する中、持続可能な力強い農業を実現していくため、ピーマンをはじめとした神栖市産農産物のブランド強化・PR等を行い、農業を通じた地域の活性化を図ります。

拡 新規就農者育成支援

● 新規就農者等支援事業費補助金

R6予算額 8,300千円

補助金額

- 農業用機械の取得：1/3以内、上限50万円
- 農業用パイプハウスの導入：1/3以内、上限100万円
- 荒廃農地の再生作業経費：1/2以内、上限50万円

対象者

認定新規就農者、
拡 中高年新規就農者 等

45歳以上65歳以下



● 新規就農者育成総合対策事業費補助金

補助金額

R6予算額 9,000千円

(1) 経営開始資金

生活安定補助：年上限150万円、最長3年間

(2) 経営発展支援事業

経営拡大をする方向け：上限750万円



魅力ある産地づくり支援事業費補助金

R6予算額 500千円

新たな生産・加工・販売・流通の仕組みを構築する方に対する補助

補助金額

補助率：1/2以内、上限：50万円

活用事例

- ・米の生産加工、商品化及びブランド化
- ・新たな病虫害防除の取り組み（赤色LED）



みどりの食料システム戦略事業交付金

R6予算額 8,400千円

地域の再生エネルギー資源を活用した地域循環型エネルギーシステムの構築のための営農型太陽光発電のモデル的取組等を補助

補助金額

補助率：太陽光発電設備機器に係る経費のみ1/2以内
 上限：8,000千円

国補事業



夢のひろば須田

R6予算額 3,542千円

地域住民で結成する「花と緑の会」が主体となって、市民が憩うことのできる空間の創出を目的として維持管理を行います。



重 園芸振興事業

目的

日本一の出荷量を誇るピーマンなどを作付する市内園芸農家に対し、付加価値・収益性向上のための機械導入や農作物の安定生産のための支援、農業用廃プラスチック適正処理等の支援を行うことで、園芸農業の振興を図ります。



新 農業用ハウス被覆資材張替事業費補助金

農業者の負担軽減を図るため、農業用ハウスのビニール張り替えに使用する被覆資材等の購入費に対して補助

R6予算額 12,000千円



農業用ハウス

補助内容

対象経費の5分の1(上限10万円)
事業主体：農協・農業者団体、
個人農家

安全安心な農産物推進事業費補助金

農薬使用を減らし環境負荷の軽減や安全安心な農産物を生産するため、病害虫の適切な防除に対して補助

R6予算額 13,000千円

補助内容

天敵昆虫（生物的防除）や粘着シート等の防除資材（物理的防除）購入経費の10%以内
事業主体：農協・農業者団体等



燃料費高騰対策事業費補助金

燃油価格が一定以上高騰した場合に補填金が受けられる「施設園芸セーフティネット構築事業」への加入を促進するため、積立金の一部を市が補助

R6予算額 1,875千円



園芸暖房機

補助内容

3円/L × 燃油使用量 × 1/2
事業主体：国セーフティネットの積立金を納付した農業者団体等

儲かる産地支援事業費補助金

生産性・付加価値向上のための機械等導入や、ICT・高性能機械の導入等に対し補助

R6予算額 16,590千円

補助内容

事業費の1/2
(県補助額1/3, 市補助額1/6)
事業主体：農協・営農集団



農業用ドローン

水産業振興事業

目的 市の重要基幹産業である水産業の維持安定に努め、漁業・水産加工業の振興を図ります。

水産業元気アップ支援事業補助金

R6予算額 5,000千円



事業内容

水産業の活力の増進と持続的な発展を図るため、意欲ある漁業者や水産加工業者等の新たな商品開発や販路開拓等の多様な取り組みを支援します。

対象事業

- 地元水産物を活用した新たな加工品開発・商品化
- 活魚出荷に関わる設備等の導入
- 他業種と連携した地産地消や観光漁業の取り組み
- 産地直送や新たな販売先の開拓 等

補助金活用事例



ラベル作成・全自動魚釣り機導入



生シラスの安定供給に向けた試作



シジミの産地直送に向けた種苗生産試験



リーフレット作成

その他、水産業振興のための補助事業

- 魚食普及事業：各種イベントでの無料配布や料理実演などの魚食普及活動
- 内水面漁業振興事業：しじみ、ふな等の放流や人工養殖事業など、水産資源の回復に向けた取り組み
- 海面・内水面小型船漁業振興事業：種苗放流や新漁場開拓の資源調査など、資源管理型漁業の強化 等



重 スポーツツーリズム推進事業

目的

交流人口の増加及び地域経済の活性化を図るため、各種スポーツ大会や合宿に対する開催支援及び誘致活動などを行い、スポーツツーリズム推進協議会と連携しながらスポーツツーリズムを推進します。

概要

「知る」「来る」「満足する」をスローガンに、各種競技団体等へのプロモーション活動を通して、新規スポーツイベントやトップスポーツ合宿の誘致、さらには合宿地としての満足度向上に向けた事業を行います。

知る

- スポーツ協会等への誘致活動
- スポーツ雑誌への広告出稿
- スポーツツーリズムEXPOへの出展
- インフルエンサー活用

来る

- スポーツイベント等の開催
- スポーツツーリズム推進等助成金
- インバウンド誘客

満足する

- 満足度向上
「また神栖で合宿（大会）をしよう！」と思えるよう、官民が連携して満足度向上を目指し、リピーターの確保に努めます。

〈R5実績〉



スポーツツーリズムEXPO



ラクロス



神栖市菊祭り剣道大会



Jリーグキャンプ

重 観光振興事業

概要

当市の観光スポットやイベント情報を広く発信するとともに、フィルムコミッション事業を通じ新たな魅力の発掘と知名度向上に取組み、当市への誘客を促進します。また、まつり等のイベントへの助成を行い観光振興と地域活性化を図ります。

イベント・観光PRによる誘客促進

- ・海水浴、桜まつり等イベントの実施
- ・県内外での観光PRブース出展
- ・各種メディアを活用した広告・宣伝

フィルムコミッションによる知名度向上

- ・映画やドラマ、ミュージックビデオ等の撮影誘致
- ・ホームページ等によるロケ地紹介

まつり・イベントへの助成

- ・まつり事業補助金
- ・観光行事助成金
- ・観光プロモーション事業費補助金 ほか

主な事業内容

海水浴場誘客促進事業

観光プロモーション

- 首都圏駅構内へのポスター掲示
- ラジオによるPR
神栖市の海水浴場紹介コーナー放送
ラジオCM放送、番組SNSでの紹介



サービスエリアポスター掲示

ビーチイベント

- 海水浴期間中に、砂浜を活用した誰でも参加できるビーチイベントを実施



ビーチイベント

海水浴場誘客促進事業補助金

- 海水浴場でのイベントや講座等の開催、海の家の出店など海水浴場の誘客促進につながる事業に対する補助

【補助率・上限金額】

- ・事業開催に要する対象経費の2分の1
- ・1件あたり30万円



日川浜海水浴場



波崎海水浴場

重 住環境整備事業

整備の基本方針

波崎東明神周辺地区の建物密集と接道不良を解消し、防災性の向上を図りつつ、にぎわいのある住環境の創出を目指します。

① "みち"づくり

地区の骨格となる防災道路（幅員6m）の整備
建替えを可能にする生活道路（幅員4m）の整備

② "みどり"づくり

身近な公園・広場の整備

③ "にぎわい"づくり

地区に点在する空閑地の利用による人口増加など

整備効果

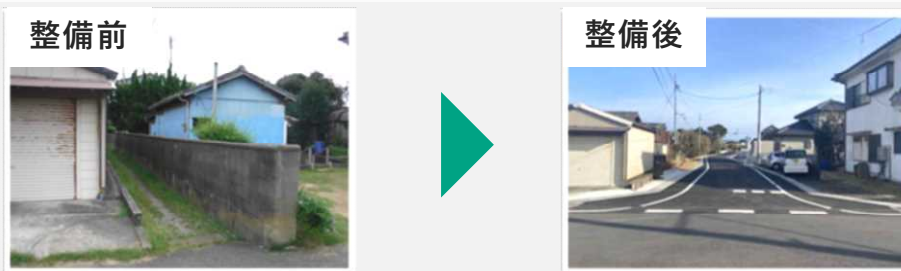
- 道路、公園の整備による防災性の向上
- 接道不良の解消による建替えの促進
- 空閑地の利用促進

令和6年度 主な実施内容

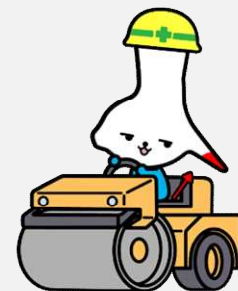
市道1450号線東側整備工事(水道管含む)	延長 = 約110m ²
市道1015号線北側擁壁設置工事	延長 = 約60m
市道1015号線中央整備に係る補償費の算定	
市道1285号線整備に係る補償費の算定	

これまでの整備状況

道路整備	5路線	総延長 = 約865m
公園整備	2箇所	総面積 = 約1,350m ²
ポケットパーク整備	2箇所	総面積 = 約440m ²



- 整備済箇所
- 整備箇所
- 補償費算定箇所



市営住宅建替事業

概要 公営住宅等長寿命化計画により、低所得者の居住の安定を図るため、老朽化が著しい市営住宅を集約し、日の出町地区に1棟50戸の市営住宅を建設します。

(仮称) 日の出町住宅 完成イメージ図



津波の時は屋上に緊急避難できるよ



位置図



建替箇所



解体した東町住宅

事業費（3カ年継続）

◎総事業費	1,481,721千円
○解体工事	245,784千円
○建築工事	1,217,216千円
○施工監理	18,721千円

建築設計概要

- ・建物構造 R C 造
- ・階数 3階（エレベーター設置）
- ・延床面積 3,269㎡（敷地面積 6,052㎡）
- ・住戸 3DK29戸，1DK21戸
- ・その他 駐車場，駐輪場ほか

スケジュール

令和4年度
工事発注・解体工事

令和5年度
解体工事・建築工事

令和6年10月
完成予定

空家等対策事業

目的

- ・管理不全な空家等の所有者等に対し適正な管理を促し、倒壊等の恐れがある危険な空家等の減少を図ります。
- ・空き家の利活用を通じて、良好な住環境の確保及び空き家を活用した移住の促進を図ります。

空家解体支援事業補助金

9,900千円

概要

第三者に被害を与える恐れのある特定空家等及び管理不全状態の空家等を減少させるため、所有者が自主的に行う解体工事の費用の一部を支援します。

①特定空家等解体補助

交付額：1,000千円

②不良住宅空家解体補助

交付額：700千円

③管理不全状態の空家等解体補助

交付額：500千円



※交付額は上限額

空家利活用促進事業補助金

2,800千円

概要

空家バンクに登録されている物件又は成約された物件に対し、流通促進及び居住性向上のために実施する改修や家財道具処分等の費用の一部を支援します。

①改修事業補助

対象：リフォーム全般

交付額：1,000千円

1,200千円（移住者）



②家財道具処分事業補助

対象：空家内の家財道具処分

交付額：100千円

③成約奨励金事業補助

対象：成約物件の所有者と契約者

交付額：50千円(両者にそれぞれ交付)

※交付額：①及び②は上限額，③は定額

新

移住・定住お試し住宅

1,558千円

概要

空家バンクに登録された空家を所有者から借り上げ、移住希望者向けのお試し住宅として整備及び運営します。家族での移住体験やテレワークの実現可能性体験、ワーケーション等の利用を通して移住定住に繋げていきます。



地籍調査事業

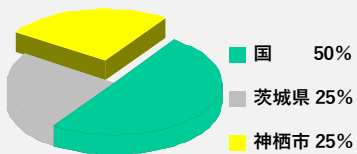
地籍調査とは

地籍とは、いわば「土地に関する戸籍」のことです。地籍調査事業では、国土調査法に基づき、一筆（土地の単位）ごとに土地の所有者・地番・地目などを調査し、境界の確認と精度の高い測量を行い、地図と簿冊（地籍図と地籍簿）にとりまとめていきます。

その結果をもとに、法務局（登記所）に備えてある当市の過去の「公図」や「土地登記簿」の記載内容が修正され、地籍の明確化が図られます。



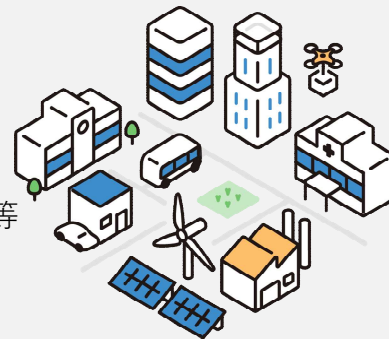
事業費の負担割合



事業概要

確かな境界線 豊かなまちづくり

- 認証，承認，法務局へ送付
太田但馬山Ⅰ地区
- 地籍図及び地籍簿作成，閲覧等
太田但馬山Ⅱ地区
- 測量，地籍図及び地籍簿作成，閲覧等
日川Ⅱ－1地区
- 一筆地調査及び測量
知手中央五丁目地区



地籍調査の効果

地籍調査が行われると、土地資産が保全され、相続や土地取引がスムーズに進むほか、災害復旧の迅速化，境界トラブルの未然防止，公共事業の円滑化，課税の適正化など、様々なメリットが生まれます。

地籍調査事業の流れ (事業計画・準備)



境界は所有者の立会と合意で！



閲覧で成果を確認！

対象区域ごとに説明会を開催

土地の境界を確認
(一筆地調査)

一筆ごとに測量を実施

「地籍図」と案
「地籍簿」を作成

地籍調査の成果を確認
(閲覧/訂正)

県の認証，国の承認後，法務局(登記所)へ送付

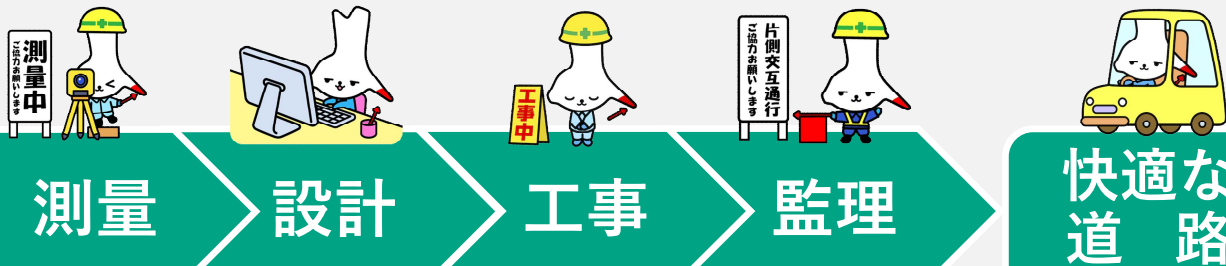


市道整備事業・市道補修整備事業

目的

生活道路において、未整備道路の舗装及び側溝の整備をし、通行性や利便性の向上を図ります。

また、主として交通量の多い道路等について、長期的視野で計画的に改修工事を実施し、経年劣化及びわだち等を解消することにより、良好な道路機能を維持します。



●市道整備事業

測量設計監理委託料（新設）	33,000千円
工事請負費（新設）	144,000千円
その他	4,472千円

< R 6 年度 主な新設路線 >

神栖地区	市道8-472線	外2路線
波崎地区	市道1315号線	外2路線

●市道補修整備事業

測量設計監理委託料（維持）	38,000千円
工事請負費（維持）	427,500千円
その他	431,378千円

< R 6 年度 主な改修路線 >

神栖地区	市道8-105号線	外3路線
波崎地区	市道2239号線	外2路線

市道8-105号線（神栖市東深芝地内・舗装改修）



整備前



整備後

北公共埠頭雨水幹線整備事業

事業概要

- 浸水実績地区の被害軽減を目的に整備します。
- 地区計画を見据え、上流（浸水周辺箇所）から段階的に管渠を整備し、完成区間に貯留機能を持たせることで、全線完成を待たずに早期の整備効果を見込みます。

スケジュール

北公共埠頭1号雨水幹線（神栖地区，平泉東地区）

平成25年度から整備工事に着手し、完成した区間から雨水貯留管として暫定使用を開始しています。令和3年度からは、北公共埠頭（鹿島港）へ排水ができるように放流渠整備工事を進めており、令和6年度に全線供用開始を予定しています。

平成25年度
上流部より着手

平成29年度
暫定使用開始

令和6年度
全線供用開始予定

整備効果



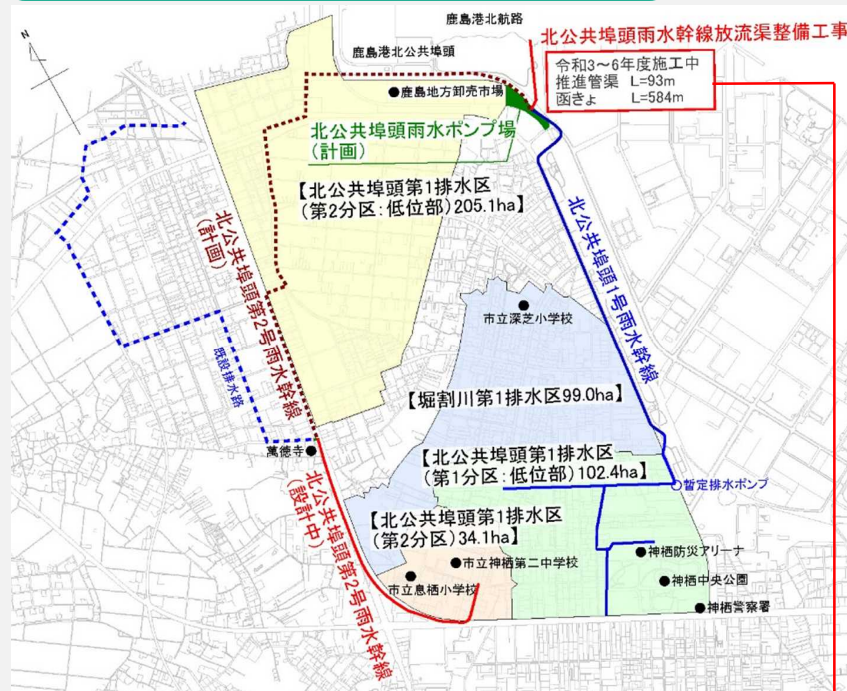
整備前



暫定使用開始後

浸水被害軽減

北公共埠頭雨水幹線整備事業計画（案）



施工状況



施工中（令和6年1月現在）



臨港道路下部管渠（直径3.0m）

R6当初予算額	(排水路維持管理事業)	384,738千円
	(市道整備事業)	31,100千円
	(市道補修整備事業)	21,000千円
	(農業用排水路等管理事業)	64,000千円
	(再掲予算含む)	合計500,838千円



重 雨水排水対策事業

目的

浸水実績のある地区を中心に、側溝及び排水路を整備し、長期的視野で整備効果を検証しながら、計画的に改修工事等の雨水排水対策を実施します。また、既存の老朽化した排水路を改修し排水機能を維持します。

事業概要

●排水路維持管理事業

- ・須田団地雨水排水路整備工事
- ・日川地区雨水排水路改修工事
- ・東深芝地区雨水管渠補修工事 等

●市道整備・市道補修整備事業

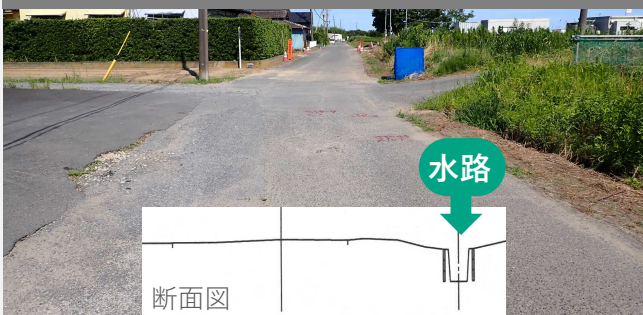
- ・石神地区道路改修工事
- ・横瀬団地地区側溝新設工事 等

●農業用排水路等管理事業

- ・矢田部西前宿地区排水路改修工事
- ・波崎高野地区排水路改修工事 等

冠水対策 施工例 (3息栖真崎地区排水路改修・市道8-1676号線側溝新設工事)

施工前



水路が片側にしかなく、排水能力が不足

施工後



道路の嵩上げと側溝の整備で、排水能力を強化

大雨の際、雨水と常陸川の水位上昇によって道路の冠水が起っていたよ。
道路の両側に側溝を整備し、道路全体の高さを上げることで、冠水被害を軽減できたよ。



都市整備部 道路整備課
産業経済部 農林課

重 学力向上推進事業

目的 学習支援体制の充実や教職員の資質向上を図り、児童生徒の確かな学力の定着を目指します。

主体的・対話的で深い学びの実現

■教職員の指導力の向上

- 1) 校内研修の支援やその核となる教員の育成により、各校の授業改善並びに神栖市授業スタイルの自校化・自分化を目指します。
- 2) カリキュラム・マネジメントによる育むべき資質・能力の明確化と教職員の協働体制の確立を図ります。
- 3) 市アクティブ・ティーチャー先進校視察を通して、教職員の視野や見聞を広めることで、「質の高い教師集団」を育成します。

キャリア教育の推進

■児童生徒が学ぶことと将来のつながりを考えながら、自分らしく生きることを目指せるよう、各小中学校のキャリア教育を推進します。

■市内外の企業・事業所等と教育分野が連携し、意見交換や交流活動を展開する「キャリ☆フェス神栖」を通して、学ぶ意義や働くことの大切さ、地域のよさに気づく機会を設けます。



キャリ☆フェス神栖の様子

学校図書館の充実

■市内各小中学校へ、図書館指導補助員を配置し、学校図書館の管理運営に関する補助を行うことで、学校図書館の充実を図ります。

全国学力・学習状況調査結果の分析と授業改善

■市全国学力・学習状況調査結果検討委員会を設置し、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することにより、教育活動の成果を検証し、授業の改善を図ります。

学習支援体制の充実

■きめ細やかな指導体制

市教諭、学習指導補助員及び学習指導補助教員を配置し、少人数学級編制、チームティーチングなど、一人ひとりを大切にしたいきめ細やかな指導を行い基礎的・基本的な学力の定着を図ります。

■外国語教育の充実

British Hills英語研修、イングリッシュキャンプでの研修を通じて、英語力や国際感覚を育成します。



イングリッシュキャンプの様子

■放課後こども教室

主体的に学習やスポーツ、文化体験活動に取り組む場所をつくり、心豊かで健やかな児童を育成します。



小・中学校給食費の無償化

概要 物価の高騰に直面する保護者の経済的負担を軽減するため、児童・生徒の給食費を無償化します。

対象 市内の小中学校に在籍する児童・生徒の学校給食費

実施期間 令和6年4月から令和7年3月までの1年間

※コロナ禍や物価高騰における保護者の経済的負担を軽減するため、令和2年度から引き続き実施しています。

神栖市産の食材を使ったメニューや季節のメニューなど、工夫を凝らしたおいしい給食を提供しています！



まるごとかみすの日

- さばのみそ煮
- もやしとピーマンのサラダ
- 小麦豚入りかき玉汁 など



季節の献立（お正月）

- おぞうに
- 紅白なます・松風焼き
- 紅白ゼリー など

保護者が負担している給食費が **無償**になります！！

1年間の保護者負担額

小学校児童	24,860円/人
中学校生徒	27,060円/人



第一学校給食共同調理場整備事業

事業目的

市内3か所の学校給食共同調理場では市立小中学校22校及び幼稚園4園に給食を提供しています。

第一学校給食共同調理場は築30年以上が経過しており、施設や設備が著しく老朽化しています。安全で安心な学校給食の安定的かつ継続的な提供を行うため、新衛生基準に適合し食物アレルギーにも対応した給食が提供可能な施設を整備します。



施設・設備の状況



施設外観



調理室（調理機器）

施設・設備の老朽化が著しく修繕等を繰り返しながら調理能力を維持している状況です。

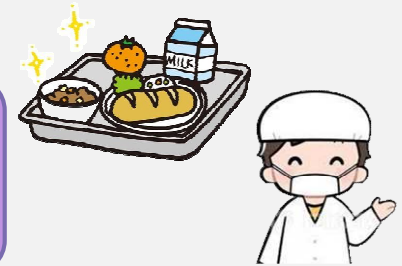
スケジュール(案)

令和5年度
基本計画策定

令和6～7年度
基本・実施設計

令和8～10年度
建設工事

令和10年度
給食提供
開始予定



給食提供対象校数

第一学校給食共同調理場

平成3年 整備

小学校4校，中学校2校，幼稚園2園

第二学校給食共同調理場

平成28年 整備

小学校6校，中学校3校，幼稚園2園

第三学校給食共同調理場

平成20年 整備

小学校4校，中学校3校

矢田部公民館管理運営事業

目的

矢田部公民館は昭和57年に建築され生活文化の振興，社会福祉の増進に必要な施設ですが，老朽化・塩害等による経年劣化などが進んでいることから，長寿命化計画による劣化度調査を基に，安全・安心な施設の維持管理を行います。

施設概要

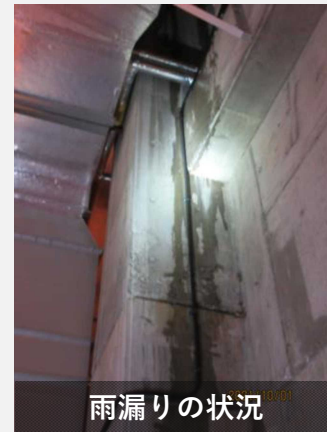
施設名 矢田部公民館
 構造 RC（鉄筋コンクリート造）
 建築年 昭和57年
 延床面積 3,283.23㎡

工事概要

工事内容 屋根改修・防水改修・外壁改修
 外部スロープ設置
 外部建具その他の改修予定



屋根の状況



雨漏りの状況



爆裂の状況

概算予算 工程予定



◆R5事業費 12,070千円
 【内訳】
 工事請負費 10,000千円
 監理委託料 2,070千円
 ◆R5年度事業予定
 工事契約

◆R6事業費 270,767千円
 【内訳】
 工事請負費 262,487千円
 監理委託料 8,280千円
 ◆R6年度事業予定
 工事着手
 仮設工・改修工・設備工等

◆R7事業費 67,724千円
 【内訳】
 工事請負費 65,622千円
 監理委託料 2,102千円
 ◆R7年度事業予定
 改修工・スロープ設置工等
 完成予定

スポーツ推進事業 かみす防災アリーナ運営事業

R6当初予算（スポーツ推進事業）48,690千円
（かみす防災アリーナ運営事業）
906,426千円



事業概要

スポーツ団体等への活動支援及び指導者の育成を行うとともに、スポーツレクリエーション祭やランニング大会等のスポーツイベントの開催、スポーツ振興を目的としたプロスポーツ大会を誘致することにより、スポーツのまちづくり、市民の健康増進と体力づくり、青少年の健全な心身の育成、まちの賑わいの創出等を図ります。

スポーツ推進

「市民ひとり・1スポーツのまち」を目指し、市民に幅広く気軽にスポーツを楽しんでいただき、健康と体力の保持増進のきっかけづくりとして、また、イベントを通して市民間の交流といきいきとした市民生活の充実を図ります。



はさきさわやかランニング大会

主なスポーツ活動支援

●スポーツ団体事業費補助金

スポーツ団体が実施する大会や教室等の経費を助成することにより、地域スポーツ活動の活性化を図ります。

●スポーツ大会出場報奨金

スポーツの推進と競技力の向上を図るため、全国規模等のアマチュアスポーツ大会に出場する個人又は団体に報奨金を交付します。

開催予定イベント



茨城ロボッツ公式戦



スポーツレクリエーション祭

●Wリーグ（バスケットボール女子日本リーグ）公式戦

●さわやかランニング大会

その他にも、かみす防災アリーナでは、講演会や防災イベントなど様々なイベントを実施します。



はさき保健・交流センター管理運営事業 はさき保健福祉センター運営事業



概要

波崎地域及び矢田部・土合地域における地域住民の交流を育むとともに保健福祉の充実を図るため、地域間・世代間交流を促進する機能と、健康づくりや子育て支援を行う機能を併せ持つ複合拠点施設です。

はさき保健・交流センター管理運営事業

波崎・矢田部地域のコミュニティの活性化を図るため、地域住民が主体的に行う文化活動をサポートし、生きがいつくりや文化教養の向上に資するさまざまな教室や講座を実施します。

- フラダンス・ウクレレ教室
- ナイトピラティス教室
- キッズダンス教室
- 科学教室
- お片付けセミナー など



地域交流イベントの開催

地域間・世代間交流を通じて、地域住民が連携・協力できるような交流イベントを開催します。



令和5年度 地域交流イベント

はさき保健福祉センター運営事業

子育て支援

妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行います。

【乳幼児の育成支援】

- ① 発育栄養相談や家庭訪問
- ② 乳幼児健診（4か月児，1歳6か月児，3歳児）

【子育て支援】

- ① コンシェルジュによる子育て相談
- ② 母子健康手帳の交付
- ③ 妊産婦一人ひとりに合った支援プランの作成



健康づくり

【成人の健康づくり支援】

- ① 住民健診・がん検診等の実施
- ② 健康相談及び保健指導

【予防接種予診票の発行】

- ① 乳幼児や成人等の予防接種に係る予診票の発行・再発行



健診ロビー

重 コミュニティセンター管理運営事業

目的

大野原・うずもコミュニティセンターは自主避難所に指定されており、災害時、自主避難を希望する方の問い合わせ状況により避難所を開設します。安全安心な避難所となるよう、大野原コミュニティセンターでは令和5年度から引き続き外壁等の改修を行い、うずもコミュニティセンターでは多目的ホールに冷暖房機能を備えた空調設備を設置することで、通常利用のほか自主避難所としての機能強化を図ります。

大野原コミュニティセンター 外壁等改修工事



建築 平成元年度 延床面積1,203㎡
鉄筋コンクリート造 地上2階建て

主な改修内容として、外壁のひび割れ等を補修し、新たに塗装し直します。また、劣化がみられる屋上防水及び屋上のトップライトは全面改修します。

うずもコミュニティセンター 多目的ホール空調設備改修工事

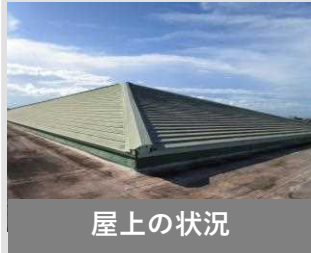


建築 平成3年度 延床面積1,993㎡
鉄筋コンクリート造 地上2階建て

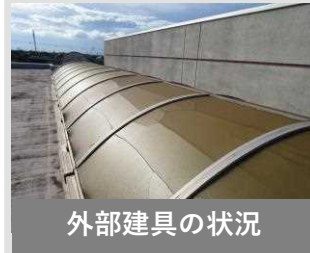
現在設置されている暖房機器を冷房機能も備えた空調設備に改修します。避難者の滞在を想定し、風や音の影響を抑えた空調設備の設置を予定しています。



外壁の状況



屋上の状況



外部建具の状況



多目的ホールの状況

多目的ホール

競技場床面積 457.6㎡

避難者収容人数 228名

スケジュール (予定)

令和5年10月 工事着工 (通常開館 (一部利用制限あり))

令和6年 7月 完了

8月～ 通常開館



スケジュール (予定)

令和6年 5月 工事着工 (通常開館 (一部利用制限あり))

10月 完了

11月～ 通常開館





地区活動支援事業 市民協働推進事業

地区活動支援事業

概要

地区は、市の最も基本的な協働のパートナーであるため、市をあげて地区加入促進及び脱退防止に取り組みます。

地区加入促進及び脱退防止の取組

●地区活動事例集の作成

各地区の区長業務の負担を軽減するため、区長業務のマニュアルなどを記載した事例集を作成し、地区の役員となる方の負担軽減につなげます。



●地区加入促進ブースの設置

転入者が多く来庁する時期に、市役所本庁舎1階に加入促進ブースを設置し、地区の重要性や取り組みを紹介します。



地区未設定区域（土合本町）における設立協議の検討

- 企業社宅跡地に宅地分譲が進んだ土合本町地域の、地区未設定区域における地区の設立に向け、協議を進めます。

市民協働推進事業

概要

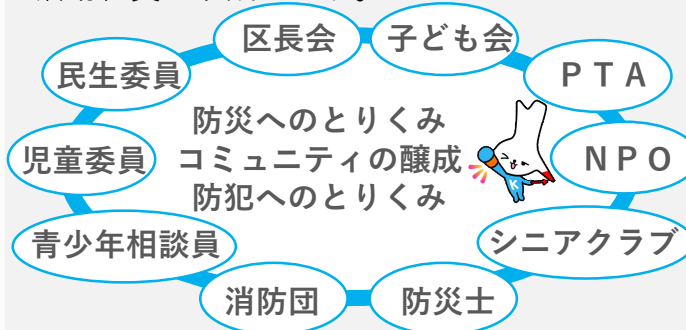
多様化する市民ニーズに対応するため、市民と行政が対等なパートナーとして理解・尊重し合いながら、互いの特性を生かして公共的な課題の解決やまちづくりに取り組みます。

地域コミュニティ協議会

- 協働のまちづくりを推進する地域コミュニティ協議会をサポートするための環境整備や、財政的人的支援の充実に図ります。
- 地域コミュニティ協議会活動費助成金（6,000千円）

令和5年度までに、市内全中学校区を対象に、6つの地域コミュニティ協議会（平泉、神栖四中学区、うずも、矢田部・土合、波崎東、若松）が設立され、地域の特色を生かした活動を行っています。

地域コミュニティの活性化と協働のまちづくりを推進するため、活動経費を助成します。



地域コミュニティ協議会イメージ

子ども110番スタンプラリーの様子

地域ポイントカード事業

目的 市が開催するイベント等の参加者に対し、市内店舗等での買い物に利用可能なポイントを付与することにより、市民の地区加入やイベント等参加への動機付け、市内事業者の振興を図り、地域の活性化につなげます。

概要

市内店舗(神栖ポイントカード加盟店)でお買い物をすると・・・

市が開催するイベント等に参加・協力すると・・・



店舗側のメリットを創出

加盟店を増やし、ポイントカードを利用する市民の利便性向上を図るため、新規加盟店加入時の負担を軽減することで、事業に参加しやすい体制づくりを支援します。

対象経費	支援内容
端末機器購入費	全額補助
システム使用料	全額補助(加入後1年間)

【加盟店のメリット】

- ・ 端末購入費等の負担が無いので、必要最低限の経費で集客拡大
- ・ ポイントが貯まるお店でお買い物することによるリピーターの増加
- ・ 市のポイント事業との連携による利用者の増加
- ・ かみすポイントカード会のホームページによる各店舗のPR強化

かみすポイントカードは2種類！



お店でもらえる
一般カード



地区加入世帯がもらえる
特別カード

地区加入のメリットを創出

【特別カードの特典】

- ココくんポイントを年**500ポイント**付与
- ココくんポイントを一般カードの**2倍**付与 (例外あり)



重 まちのにぎわいづくり事業

目的

当市が誇る歴史ある息栖神社（東国三社）や神之池緑地，波崎東部地域の魅力を向上させ，市内外から多くの方々に訪れていただくことにより，定住人口及び交流人口等の拡大による地域の活性化を図る。

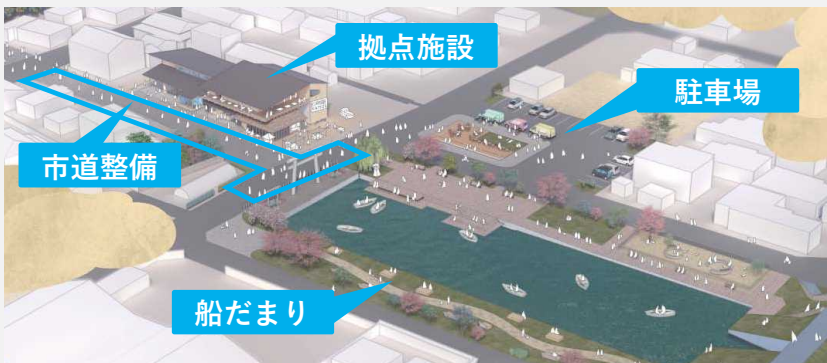
概要

息栖神社周辺

- ・ 拠点施設整備工事（令和5～6年度）
情報発信，物販，飲食，休憩スペースの整備
- ・ 拠点施設駐車場舗装整備工事（令和6年度）
イベントで活用可能な拠点施設駐車場整備
- ・ 市道整備工事（令和6～7年度）
風情を演出する石畳風舗装整備
- ・ 船だまり整備実施設計（令和6年度）
船だまり周辺の景観整備



拠点施設整備イメージ



整備イメージ



物販スペースイメージ



飲食スペースイメージ

神之池緑地

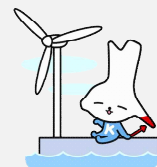
- ・ 桜を主とした樹木再配置計画策定（令和4～6年度）
桜の魅力を向上させ，さらに，四季を通じて樹木や草花を楽しめる公園とするための植樹計画を策定



整備イメージ

波崎東部地域

- ・ 波崎東部市営住宅再編に伴う土地活用基本計画及び実施方針の策定（令和5～7年度）
波崎東部市営住宅建替えに伴い発生する用地の活用



企画部 政策企画課
都市整備部 道路整備課・施設管理課・住宅政策課



〔重〕かみす子育て住まいる給付金

事業概要

移住・定住の促進と地域の活性化を図るため、子育てや高齢者と同居するために住宅を取得した場合に、その費用の一部を補助します。

○申請期限：登記原因の日等から2年以内

要件と給付例

年齢要件 申請者が45歳未満

同居要件 高校生相当以下1人以上 または 親もしくは65歳以上の親族



基本額

25万円

最大100万円



【最大給付の例】

基本額	25万円
居住地域誘導（柳川中央）	15万円
子育て支援（子ども4人）	30万円
移住支援	30万円
合計	100万円

加算条件

居住地域誘導（いずれか）



柳川中央
(市有地の購入者限定)

15万円

市街化区域

5万円

そのうち立地適正化計画
に定める居住誘導区域

さらに +5万円

子育て支援



2人目以降
子ども1人につき

10万円

移住支援



同居人含めて全員が
市外から移住

30万円

重 広報戦略事業

目的

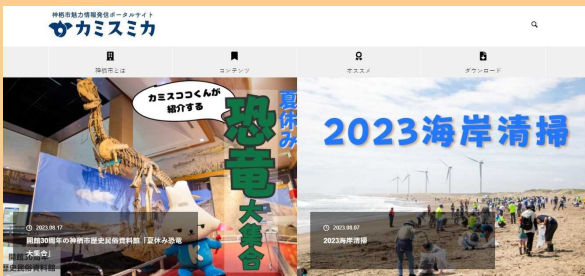
市の多様な魅力を市内外に戦略的・効果的に情報発信し、シビックプライド（市への愛着や誇り）の醸成と定住を促進し、移住及び交流のきっかけを与え、地域の活性化を図ります。

概要

① 広報戦略事業 10,962千円

ポータルサイトの活用

魅力情報発信ポータルサイト「カミスマカ」や令和5年度公開予定の「子育て・移住定住ポータルサイト」を活用し、神栖市の魅力や施策をアピールします。



懐かしのグルメ復活プロジェクト

「懐かしいあの味を復活させて、神栖市の名物グルメにできたら！」そんな思いを胸に秘めたPR大使「オスペンギン」とのコラボ企画を実施します。



イメージキャラクター、PR大使の活用

イメージキャラクター「カミスココくん」、5組のPR大使を活用し、神栖市の魅力をアピールします。



安松 青葉

信太 美月



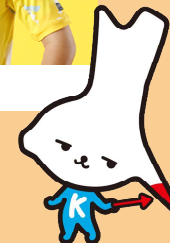
柳家 三之助

鴨川 実歩

② 放送業務 3,936千円

エフエムかしま「かみす放送局」

- ・ 神栖市行政情報やイベント情報などを鹿行地域へ発信
- ・ 災害時の情報提供手段として活用



重 電子自治体推進事業

目的

行政のDXの推進

デジタル技術を積極的に活用し、さらなる市民サービスの利便性向上と行政の業務効率化を目指す「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」の取り組みを推進します。

概要

1. DXによる窓口サービス向上

マイナンバーカードを活用した行政手続のオンライン化促進に加え、窓口サービスのデジタル化を進めることで、市民の利便性向上を図ります。

新 ① 暮らしの手続きガイド



ウェブで簡単な質問に答えるだけで、引越、出産、婚姻等のライフイベントにおいて必要な行政手続や持ち物を、来庁前に案内するサービスを導入します。さらに、来庁不要な手続きは、電子申請へと誘導します。

手続き漏れや書類不足を防げるので、安心

新 ② オンライン窓口予約

窓口の待ち時間削減や混雑緩和のため、市役所の窓口受付や設備利用について、オンラインから日時予約できるサービスを導入します。



スマホから24時間いつでも予約

新 ③ 庁舎間オンライン相談窓口

波崎総合支所と本庁等をテレビ会議システムによりつなぎ、総合支所の窓口から担当部署と映像でやり取りすることで各種相談や手続きができるようにします。



2. デジタルデバインド対策

高齢者等が身近な場所でスマートフォン等の操作・活用について学ぶ講習会等を実施し、楽しさや利便性を体験してもらうことで、市民のデジタル活用に関する不安を解消します。

- ・公共施設スマホ講習会
- ・公民館講座スマホ教室
- ・ボランティア支援員スマホ相談会 等



3. 新技術による行政事務効率化

RPA・AI-OCR*の導入業務の拡大等、デジタル技術を活用して事務処理の効率化を進めます。

※ RPA：定型業務を代行・自動化するソフトウェア型ロボット
AI-OCR：手書き書類の記載内容をデータとして読み込むツール